



全国の駅前をスタンダーズ広場に

——JR新宿駅西口で毎週土曜日に意思表示を続けながら——

村 雲 司

「どうも時代の流れがおかしい、何かしなければ」、「デモはなかなかスケジュールが合わないし」、「しかし、自分からデモを企画して人集めをするなんてとてもできない」……。思いが表わせなくて、もやもやしたものを抱え込んでしまっ

ません。私たちが続けている意思表示の方法は、誰でも何時でも出来るというのが特徴です。今日からでも始められるのです。

少し大きめの紙に自分の意見を書いて、人通りの多い場所で手に掲げて立つだけです。紙と言っても、わざわざ買ってくることはありません。月めくりのカレンダーの裏側は立派なプラカードになります。スケッチ・ブックを持つ人もいます。開いて持つと倍の大きさになり、携帯に便利です。折々の思いを書いていくと、何時の間にか一冊の文集にもなります。意見広告の新聞をそのまま広げて示す図書館で東京大空襲の写真を見つけ、拡大コピーして持つ人。墨文字で大きく「平和」と書いた人。PEACEとプリントされた虹の旗を捧げる人。米軍基地建設が計画され、破壊されてしまうかも知れない沖縄・辺野古の美しい海の写真を並べる人。みんなが自由にさまざまな方法で、平和を願うサンドイッチマンになるので

す。さしずめロンドンのスピーカーズ広場ならぬ、スタンダーズ広場といったところでしょうか。演説など出来なくてもかまいません。チラシが作れなくてもいいのです。黙ってプラカードを持つて立つだけです。立つだけが、普通の風情の人たちが、一所懸命の思いを掲げて立つ姿は、名演説に優る訴求力をもっていると感じます。スタンダーズ広場の適地は繁華街や公園なども考えられますが、やはり多くの人が決まった時間に集中する駅が、一番適しているように思います。あなたも、あなたの町の駅前で立ち始めませんか。

法律に疎い警官が、道路交通法を根拠に、「許可は？」と尋ねて来るかも知れません。しかし、道路上のビラ配りや署名集めなどの宣伝活動は、通行を大きく阻害しない限り許可は必要ありません。幾つかの判例（※註）により、裁判所の確立した判断となっています。まして私たちは黙って立つだけです。往來の邪魔に

は、まったくありません。「でも、ちよっと一人では…」という方は、もし東京の近郊にお住まいでしたら、JR新宿駅西口広場に来て、まず私たちと一緒に立ってみませんか。毎週土曜日の午後六時から一時間、意思表示を続けています。

日本にはJR、私鉄を合わせて約九六〇〇の駅があるといわれます。その全国の駅前に、一人でも二人でも政治への意見を掲げて立つ人が現われたら、大きな力になると思いませんか。政治に対して異議ありと唱える人たちが沢山いて、監視の目を注いでいることを示せば、政府への強力なプレッシャーになる筈です。

マスコミは勿論ミニコミでも、媒体として利用するには、費用や内容の規制など色々な条件をクリアしなければなりません。しかし、サンドイッチマンのようにして自分の体を媒体とするなら、何の負担もかからず、今日からでも始められます。一時間でも三〇分でも、いや一〇分でも立つことができれば、何十人かの、あるいは駅によっては何百何千の乗降客に、あなたの意見を見てもらえるのです。

気がついてくれない人もいます。話しかけてくれる人は極めて稀です。ほとんどの人はチラリと一瞥するだけで通り過ぎて行きます。しかし、私たちが立ち続



ける姿はゆっくりに、道行く人の気持ちの中へ

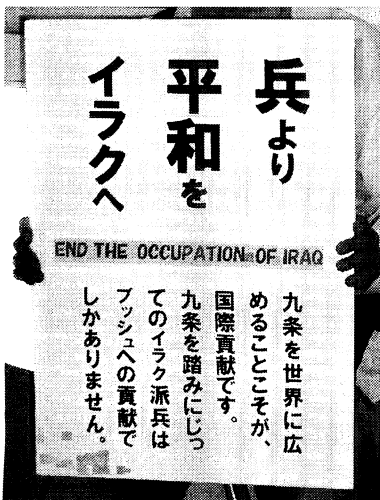
ゆくのではないのでしょうか。確かにゼロに近い行為です。でも、線路は血管のように国中を巡り、心臓である東京の中央政府につながります。私たちのコメントをわざわざ心にも心に留めた乗客の気持ちは、乗り継ぎ乗り継ぎして心臓に達していくに違いありません。はじめはゼロのようでも、集まれば力を生み出すのです。しかし、始めなければ、ゼロはゼロのままです。

最近ひしひしと感じるのは、例えば有事法、国民保護法、そして共謀罪など、さまざまな角度から、国家へ異議を唱えようとする人たちが抑え込もうとする動きがあることです。それは今では上からの意志というだけでなく、市民の気持ちにまで沁み込みつつあります。まだ今なら、街頭で戦争反対を唱えても、六〇年前のように、即座に特高警察に捕まえられるようなことはありません。今、出来るうちに声を上げなければ、手遅れになってしまおうでしょう。

「選挙に行つて、国民の義務は果たしている。必ずしも政治に納得はゆかないが、

それ以上何ができるのか」と言われる方もいます。しかし、どんなに優れた民主制度であっても、代表民主制であるかぎり投票行為だけでこと足れりとはゆかないのです。代表者は任期の間、公約を守り続けるとは限りませんし、まったく新しい事件や状況が発生したとき、すべてを政治家の判断に委ねることはできません。また長期にわたって代表者の任にあるものが、腐敗して政治倫理を失なつてゆく例は、人間の歴史に満ちています。常に、代表者の行為をチェックする社会運動が活性化してこそ、はじめて代表民主制は機能するのです。スペインでは一千万人のデモによって、イラクから自国の軍隊を引き上げさせました。しかし日本は今、残念ながらそうした是正能力を失なつてしまつています。

必要なのは、ちよつとした勇氣です。時代の流れから一歩離れて、流れに向きあう勇氣です。と、偉そうに言う私も、二年ほど前に初めて立つた時の冷や汗は





忘れられません。

改札を出て、急ぎ足で進む人たちの流れから外れ、袋からプラカードを取り出して柱を背にして立つ。このわずかな動作が、どんなに重く長い時間を感じられたことか。広場には切立つ峡谷があつて、そこを跨ぎ超えるような足の竦む思いがありました。

しかしどうでしょうか、しつかりと立つて眺め始めると、辺りの風景が一変したのです。舞台に立ったのは私ではなく、歩き続ける人たちの方だったのです。

はじめの頃は、急ぎ足で進む人たちの姿が群衆劇のように、そして回を重ねると、一人ひとりの表情までがはつきりに見えるようになりました。「スタンダー」は「立見席」の意でもあるように感じら

れました。私たちは予想外の場所にプラカードを持って立つことによって駅前風景を変

え、歩く人びとの意識を集めようと試みたのですが、同時に私たち自身も新しい風景に向かいあうことになったのです。一緒に立っている若い女性が、先日こんなことを言いました。「私はここに立ち始めてから、日常の生活でも立ち位置が変わったような気がします」と。世の中を変えたいという思いと行動は、まず自分自身を少しずつ変えていくようです。

この新しい発見が、立ち続けることができる大きな原動力となつているように感じます。そこに立つとどんな風景が見えるのか。思い浮んだ自己流の俳句らしきものと、その折々の感想を連ねながら、意思表示の奥の深さと言えるようなものをお伝えして、この稿を終えたいと思います。

もう戦死ならぬと老婆冬帽子

「もう一人でも死なせてはいけません。自衛隊を死なせてはなりません。イラクへの自衛隊派遣反対のプラカードを持って立つ私の目を、じつと見つめて語りかけて来たご婦人がいました。この方にとって、六十年後の今も戦争は続いているのです。戦争の悲しみに、「終戦」などないことを実感させられました。

無視よりも罵声に心温めれり

酔っ払った人が一声、「腰抜け」とか叫んで去って行きます。壁でも見るようにして通り抜けていく人たちと向き合つて

いた後では、却つてほつとした気持ちになります。

反対意見の人が語りかけてくることも、勿論あります。その時は、出来るだけ既存の考え方を振りかざすのでなく、原点に戻つて一緒に考えるようにしています。自分の言葉で話していると、喧嘩腰でない話し合いになるように感じます。どうしても折り合わないときは、「あなたの意見を書いて、ここに立ちませんか」と、スタンダーズ広場の一員になるように提案します。残念ながら、大概手を振りながら帰つて行かれてしまうのですが……。

春よ来い孤立と見えし草集い

新宿の西口から出発して、今地元の茅ヶ崎の駅前で、九条に因んで九のつく数字の日に、午後五時から意思表示をしている方がいます。はじめは知り合い数人でしたが、今ではいつも二十人近くが揃うそうです。残雪の隙間からぼつりと頭を出す草の芽は、いかにも孤立しているかに見えますが、周りの土の下には、芽吹きを待つ草々がじつと機会を待っているのです。

(むらくも・つかさ、ライター、ジューゴン語を翻訳する会会員、本会会員)

※道路交通法77条1項4号に違反するとして、1962年、1977年、1987年にピラ配りなどで検挙されていますが、そのいずれも「逮捕は違法」として無罪判決がなされています。